

世界初!

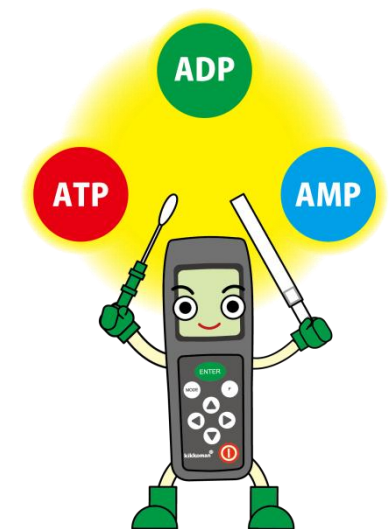
ATP+ADP+AMPふき取り検査(A3法) ～あらゆる現場で活躍するルミテスター～



主な活用部署	手指衛生	環境検査	鋼製小物 洗浄評価	内視鏡 洗浄評価
感染対策チーム	○	○	○	○
中央材料室（手術室）	○	○	○	○
内視鏡室	○	○	—	○
透析室	○	○	○	—
栄養管理室（厨房）	○	○	○ （調理器具）	—
歯科	○	○	○	—

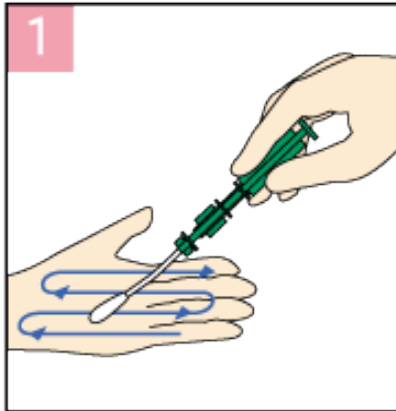
洗浄不足に起因するトラブルを、未然に防ぐための有効なツールとして活用されています！

1. 手洗い教育ツールとして
2. 環境検査に
3. 鋼製小物の洗浄評価に
4. 消化器内視鏡の洗浄評価に
5. 厨房の衛生管理に
6. 歯科分野で

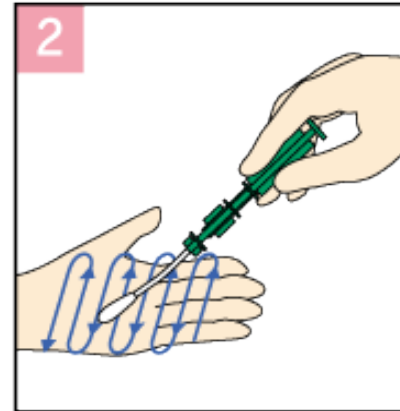


流水で手洗いしたあとにふき取ります

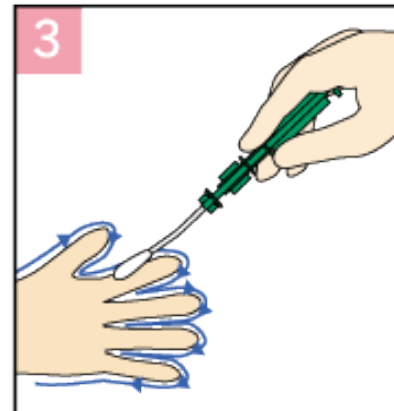
手の平を縦にふく



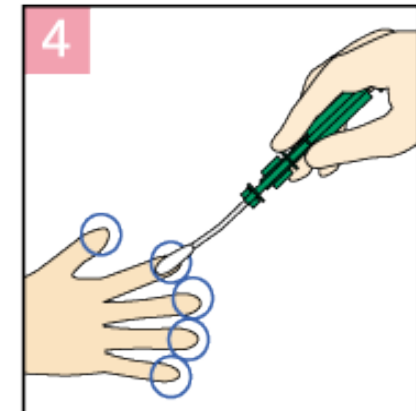
手の平を横にふく



指の間をふく



指先をふく



手洗い後の管理基準値は「2,000RLU以下」を推奨しています。

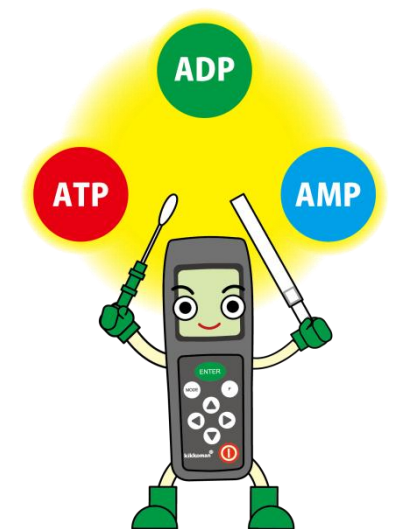


※ご注意！

擦式アルコール剤の殺菌効果は検証できません。

(ATP+ADP+AMPふき取り検査は菌検査ではありません)

1. 手洗い教育ツールとして
2. **環境検査に**
3. 鋼製小物の洗浄評価に
4. 消化器内視鏡の洗浄評価に
5. 厨房の衛生管理に
6. 歯科分野で



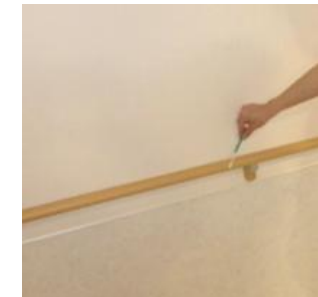
高頻度手指接触表面を中心に検査します

検査場所、管理基準値およびふき取り方法(例)

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ ナースステーション		
ワゴン	暫定500	アーム全体をふき取る
聴診器	暫定500	チェストピース全体をふき取る
血圧計ポンプ	暫定500	ポンプ全体をふき取る
点滴台	暫定500	ハンドル部分全体をふき取る
電話受話器	暫定500	受話器部分全体(内側・外側)をふき取る
パソコン(キーボード)	暫定500	表面全体をふき取る
パソコン(マウス)	暫定500	表面全体をふき取る
冷蔵庫取っ手	暫定500	取っ手全体(内側・外側)をふき取る
▶ 病棟		
オーバーテーブル	暫定500	四隅・中央の10cm四方をふき取る
ドアノブ	暫定500	ドアノブ全体をふき取る
ベッド柵	暫定500	柵上部3ヶ所(右・中央・左)の10cm幅をふき取る
ナースコールボタン	暫定500	ボタン全体をふき取る
スイッチ各種	暫定500	スイッチ全体をふき取る
▶ ME機器周辺		
タッチパネル	暫定500	接触頻度が多い部分10cm四方



オーバーテーブル



手すり



ベッド柵



ドアノブ



スイッチ各種



パソコン



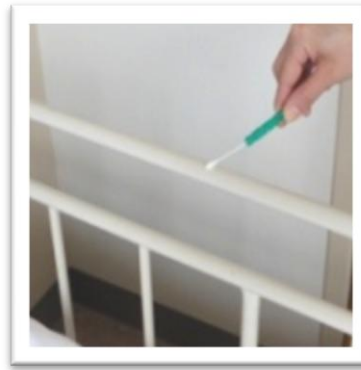
ワゴン



タッチパネル

清拭後の管理基準値は「500RLU以下」を推奨しています。

清拭効果を検証



検査箇所	清拭前	清拭後
ワゴン取っ手	2,190	75
パソコン マウス	1,492	484
廊下手すり	16,537	2,814
ナースコール	4,309	54
冷蔵庫取っ手	5,688	137
ベッド柵	15,952	842
ドア取っ手	4,229	79

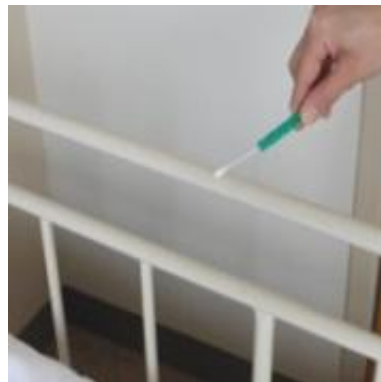
汚れが落ちやすい箇所、通常の清拭では汚れが落ちにくい箇所がわかる。

透析室のふき取り箇所（例）

環境検査



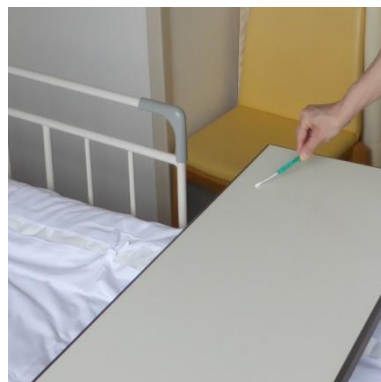
MEE機器



ベッド柵



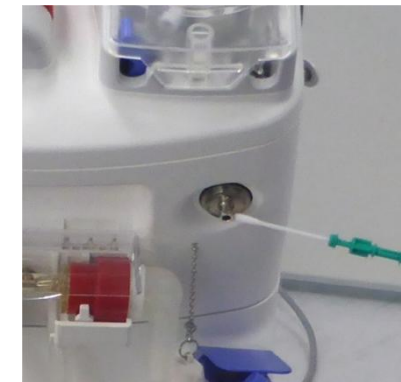
パソコン



オーバーテーブル

管理基準値は「500RLU以下」を推奨

カプラの洗浄評価



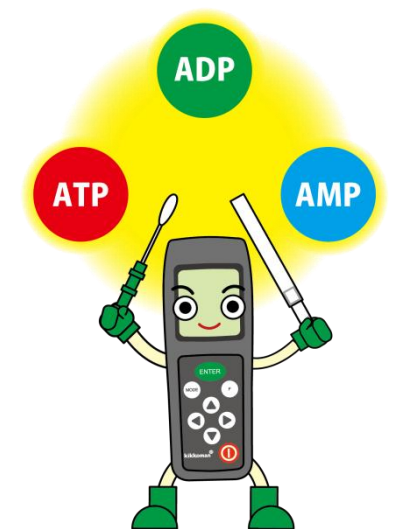
管理基準値は「100RLU以下」を推奨

手指衛生



管理基準値は「2000RLU以下」を推奨

1. 手洗い教育ツールとして
2. 環境検査に
3. **鋼製小物の洗淨評価に**
4. 消化器内視鏡の洗淨評価に
5. 厨房の衛生管理に
6. 歯科分野で



鋼製小物洗浄評価方法

直接法

- 目視法
- 残留蛋白質ふき取り検査法
- 残留蛋白質染色検査法
- 残留蛋白質溶出定量法
- ATPふき取り検査法
- ATP+ADP+AMPふき取り検査（A3法）

（ATP法は、日本医療機器学会「鋼製小物の洗浄ガイドライン2004」
洗浄評価判定ガイドライン 2012」「医療現場における滅菌保証のガイドライン2015」
に記載されています。）

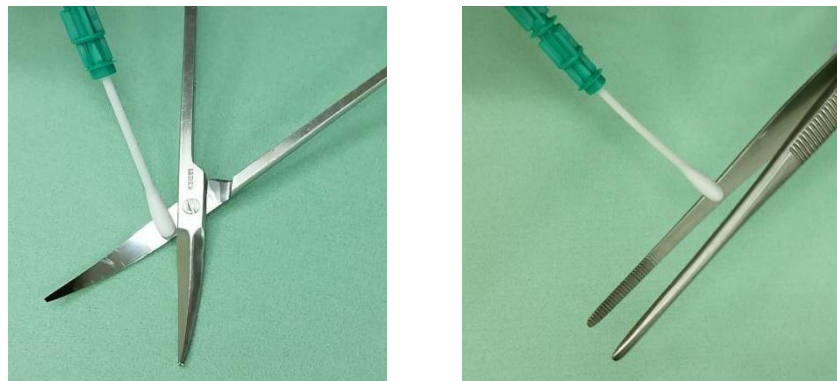
長所：

- 簡単、高感度
- 迅速、再洗浄不要
- 結果が数字で出る

間接法

- インジケータ法（テストソイル法）

綿棒でふき取れる箇所



ルシパックA3 Surfaceの綿棒でふき取り測定する



綿棒でふき取れない箇所

ボックスロック部など



※ 市販の洗浄剤で汚れを溶出し、
ルシパック A3 Waterで測定する



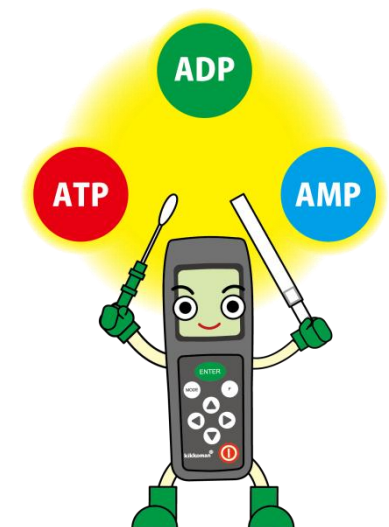
カップリングスティック先端部



※ 洗浄剤に関しては、検査に適さない場合もあります。
詳しくは弊社までお問い合わせください。

管理基準値は「100RLU以下」を推奨しています。

1. 手洗い教育ツールとして
2. 環境検査に
3. 鋼製小物の洗浄評価に
4. **消化器内視鏡の洗浄評価に**
5. 厨房の衛生管理に
6. 歯科分野で

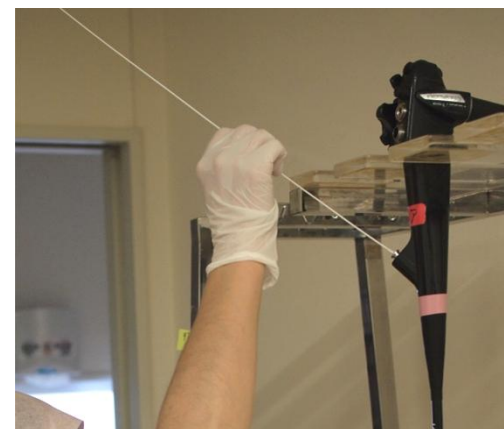


チャンネル入口、先端部



ルシパックA3 Surfaceの綿棒でふき取り測定する
(送気・送水チャンネル、吸引チャンネル、先端部なども同様に)

鉗子チャンネル内部



ルシスワブ（長軸綿棒）でふき取り、
ルシパックA3 Surfaceで測定する

管理基準値は「100RLU以下」を推奨しています。

チャンネル内部の測定方法

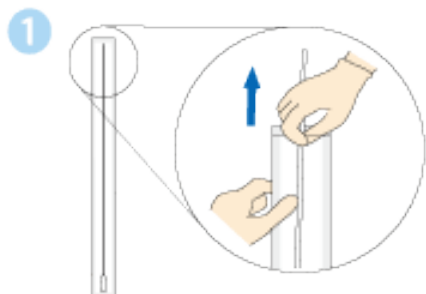
ふき取り箇所

■ルシスワブ（長軸綿棒）を **先端部から挿入し**、チャンネル内（1往復）

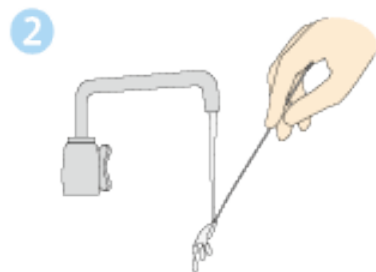
■ルシスワブ（長軸綿棒）を **鉗子チャンネルへ挿入し**、チャンネル内（1往復）

ルシスワブの使用方法

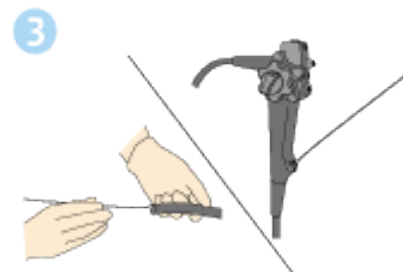
ルシパックは、必ず室温に戻してから[20～25℃、約20分間]ご使用ください。



パウダーフリー手袋を着用し、個包装袋上部を開封し、綿球が他に触れないように注意しながら、綿棒を抜き取る。



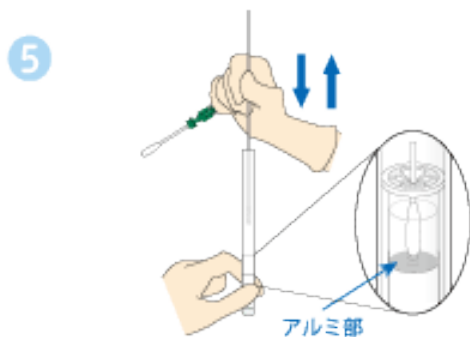
長軸綿棒を水道水*1で濡らす。



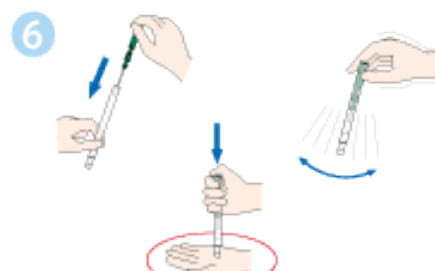
検査箇所に長軸綿棒を挿入し、綿棒軸の長さが届く範囲でふき取る*2。



長軸綿棒を綿球から12～13cmの位置に持ち直してから、ルシパックの綿棒ホルダーを本体から引き抜く。



長軸綿棒をルシパック本体の抽出試薬容器上部中心に差し込み、アルミ部を破らないように抽出試薬で綿棒を上下させて懸濁し汚れを抽出する。



チューブ底を押さえて

長軸綿棒を引き抜き綿棒ホルダーを本体に戻して押しこみ、抽出試薬をふりおとし、粉末の試薬を溶かす。



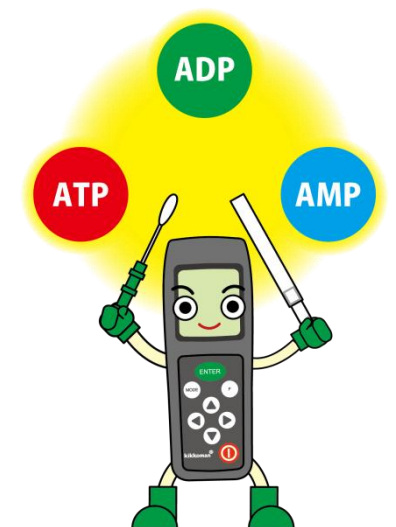
ルシパックをルミテスターの測定室に入れて、測定する。



測定中は、立てて使用

*1 生理食塩水は使用しないでください。 *2 検査表面にアルコールなど殺菌剤や、洗浄剤が残っていると正しい測定ができない場合があります。

1. 手洗い教育ツールとして
2. 環境検査に
3. 鋼製小物の洗浄評価に
4. 消化器内視鏡の洗浄評価に
5. **厨房の衛生管理に**
6. 歯科分野で



手指、調理器具、冷蔵庫の取っ手などを中心に

ATPふき取り検査法は、食品衛生検査指針に記載されています。

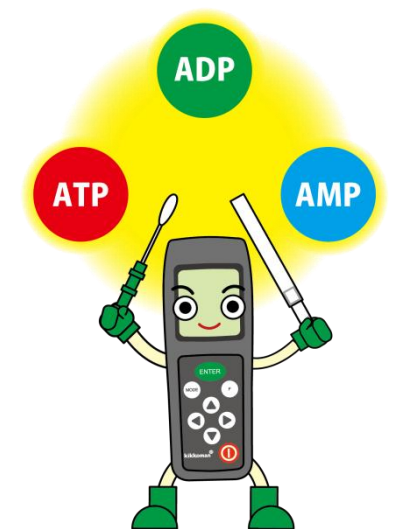
検査場所、管理基準値および ふき取り方法(例)

検査場所	管理基準値 (RLU)	ふき取り方法
▶ 厨房		
包丁	200	刃の両面全体と刃の付け根をふき取る
野菜皮むき	200	刃の先端をふき取る
玉杓子	200	取っ手以外全体をふき取る
まな板	500	中心部分10cm四方の縦横をふき取る
野菜ザル	200	中央底部分10cm四方の縦横と 上端部分内面1周をふき取る
水道栓	200	蛇口の取っ手全体をふき取る
シンク	200	シンクの四隅角をふき取る
冷蔵庫(取っ手)	200	取っ手全体をふき取る
出入口ドアノブ	200	ドアノブ全体をふき取る
盛り付け台	200	中心部分の10cm四方の縦横をふき取る
▶ 手指		
手の平(きき手)	2000	手のひら全体を縦横5~10往復、 手の間、指先をふき取る



全国の保健所、日本食品衛生協会、学校給食会、病院給食、
食品製造工場、レストラン、宿泊施設、老人介護ホーム等で活用されています。

1. 手洗い教育ツールとして
2. 環境検査に
3. 鋼製小物の洗浄評価に
4. 消化器内視鏡の洗浄評価に
5. 厨房の衛生管理に
6. **歯科分野で**



手指衛生、環境検査、歯科器具の洗浄評価など



待合室にルミテスターを活用した学会発表を掲げて
衛生管理をアピール（馬見塚デンタルクリニック様）



衛生教育、清浄度管理にお役立てください



以上

